



野球詩

～ユニフォーム～

まつもとひろし

団地の中の公園で、今日は僕らのチームの紅白戦。
いつもはボロボロのザル試合。でも今日は違ったよ。

チーム史上はじめてのゼロ行進が続く。
こんなことがあるなんて。

自分で言うのもなんだけど、今日はピッチャーがとて面白い。
いやいやキャッチャーもがんばってるよ。

そうだよ、忘れるなよ、内野陣を。
あの深い位置からアウトにしたぞ！

もちろん、外野陣を。
あの浅い打球をダイビングキャッチだよ。

バッターがダメなわけじゃない。
良い当たりが正面を突いただけだ。
フルカウントまで粘ったあいつも驚きだ。
3塁盗塁も勲章ものさ。

ところが、ところがだ。
10回表に起こっちゃった。

こんな凄いしびれる時に。
おばちゃんが、来ちゃった。

いや、悪気はないんだ、このおばちゃんも。
僕らだって、それを待ってたよ、心から。
でも、今じゃないよ、絶対！

みんなあ、出来たよ、ユニフォームが！
早くうちに取りにおいで。

すべての緊張の高まりを吹き飛ばす、おばちゃんの一言。

キャッチャーが最初に立ち上った。
もちろん、敬遠じゃないよ。
ランナーなしで、敬遠するわけがない。
抑える自信いっぱいなのに！

サードが、マウンドに向って走ってくる。
ピッチャーを励ましに来るんじゃないよ。
だって、ピッチャー見てないし。

バッターが、バットを持ったままで、マウンドに。
何もしてないぞ。許してくれ。

助けを求めて振り向くと、ショートが逃げ出すのが見える。
おい、ともだちだろう！

さらに首をひねってセカンドそしてファーストに助けを。
いや、もういないよ、そこに。
遠くに2人の背中が見えたよ。

そして外野手。いるわけないよ。
レフトは、マウンドにも寄らずにだよ。
サードのご近所さんじゃないのかよ。
一緒に行動してくれよ。

絶望的に相手ベンチを見ると、もう、誰もいない。

ゼロ行進なんてほっといて。

もう心はここにあらず。
ゼロ・リセットだよ。

だけど。

そんな僕も、だんだんうれしさが込み上げて来たよ。
初めてのユニフォーム、僕も着たいよ。

みんな待ってよ。

エースナンバー18は、僕のだからねえ。

約束するよ。

真新しいユニフォームを着て、
ゼロ行進を何度でもやってみせるから。